



株式会社 オークワ

和歌山県を中心に、大阪・奈良・兵庫・東海4県（愛知・岐阜・三重・静岡）の1府7県でスーパーマーケットを展開しています。「商業を通じて地域社会に貢献する」を信条に、地域のお客様のお役に立てるよう日々精進を続けています。



株式会社オークワ本社ビル。



2022年10月にオープンしたメッサ岩出店。



現場の声

育休休業制度を利用した
瀬戸隆正さん(社長室コンプライアンス課)

「家事や育児をして、男性育休取得の大切さを改めて実感しました」

第二子が生まれて9カ月になった時期の2022年7月末から2週間、育休を取得しました。現在の課に配属された際、上司から育児休業制度の積極的な活用を勧められていたため、家事や育児が大変になる第二子の時は取得しようと考えていました。仕事の引継ぎに関しては、普段から上司と情報を共有しながら業務を行っ

ていたので、スムーズにできました。育休中は料理以外の家事を引き受けるとともに、妻と一緒に育児も行いましたが、改めて世の中のお母さん方は大変な仕事をされていると実感しました。今後、育休取得に悩む同僚や後輩がいれば、育休取得を勧め、社内に男性育休取得のリーを生み出せればと思っています。



創業の地、和歌山の発展を支援する「大桑教育文化振興財団」

公益財団法人 大桑教育文化振興財団は、オークワの創業者・故 大桑勇が、会社を大きくしていただいた地域への恩返しを支援という形で行うことを目的として、私財を投じ、1993年9月に設立しました。和歌山県の文化・教育・スポーツに関わる各種助成事業を行い、地域の発展に寄与する活動を行っています。

子育て支援につながるCSR活動

【教育事業】

大学生に対する奨学金の給付

財団創設者である大桑勇は、貧しくて学校へ行きたくても行けなかった子供の頃を思い返し、能力があっても経済的な理由で大学進学をためらっている学生を援助したいとの願いから、大学生を援助しています。2021年度は50人に対して支援しました。

学校等に対する図書への支援

和歌山県の図書館教育の充実を図り、園児・児童・生徒に国語力をつけるために学校図書への寄贈を行っています。2021年度は幼稚園3園、小学校3校、中学校3校、特別支援学校1校の計10校に寄贈しました。

教育活動援助（社会学習・文芸）

和歌山県内で行われる児童生徒の学習支援を目的とした活動の中から、精査した上で、次の3つの教育活動を支援しました。

- ・和歌山県美術展覧会、和歌山県ジュニア美術展覧会（主催：和歌山県）
- ・中学生の「税についての作文」コンクール（主催：国税庁、全国納税貯蓄組合連合会）
- ・ふるさとわかやま学習大賞（主催：和歌山県教育委員会）

【スポーツ事業】

スポーツの発展や子供たちの健康づくり、地域のコミュニティに寄与する活動を支援しています。

- ・和歌山県選手強化対策費への支援
- ・高校スポーツ選手奨学金
- ・市町村対向ジュニア駅伝競走大会への支援



さまざまな社会貢献活動を通じて 未来の子供たちにより良い環境を



当社は、社員が仕事と育児を両立できるように時短勤務や転勤配慮制度などによりサポートしています。また育児休業はここ数年、女性社員だけでなく男性社員の取得も増えてきましたが、職位によっては育休を取得することに悩む社員もいます。社員の心理的負担を取り除くため、育休取得を上司に相談しやすい職場環境づくりに努めています。2022年4月からは管理職に対して育休制度に関する動画教育を行い、意識改革を推進しています。同年10月の法改正以降、「産後パパ育休」制度の活用を希望する社員からの相談もありました。

男性社員が気軽に育休を取得するには、まずは希望する当人と周囲の協力体制を構築することが必要です。育休により発生する仕事の引き継ぎは、突然対応できるものではありません。普段から職場内でコミュニケーションを深め、当人と会社側、双方で取組むことが育休取得を円滑に進める第一歩だと考えます。

法定以上の育児関連制度は「時短勤務」です。小学3年生まで

の子供がいる社員に対して、短時間勤務を認めています。保育園の送迎はもちろんですが、子供に寄り添う時間が取れると制度を活用する社員からも好評です。

会社からのフォロー体制を確立し、男性、女性問わず、社員が満足して働ける職場環境づくりにこれからも取り組んでまいります。

また、地域への恩返しをするため、30年前に大桑教育文化振興財団を設立し、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。活動の内容としては「教育に関する支援」「スポーツに関する支援」「文化に関する支援」を実施しています。

また、食品ロス削減と子供たちへの支援を目的として、社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会を通じて、和歌山県内の子供食堂や児童福祉施設にお米を寄贈しています。

これからも和歌山の発展を支援するため、さまざまな活動に取り組んでまいります。



子供食堂などにお米を寄贈

食品ロス削減と子供たちへの支援を目的として、2021年8月、当社と和歌山県社会福祉協議会（以下、県社協）は、「和歌山県における地域福祉活動の推進に係る連携・協力に関する協定」を締結しました。その活動の一環として、社内販売期限を迎えた精米を県社協に寄贈。県社協より和歌山県内の子供食堂や児童福祉施設へ届けるリレーを行っています。

業種 食料品・家庭用品・医薬品などの販売 所在地 和歌山市中島185-3 TEL 073-425-2481(代)

従業員 正規2,041名(男性1,562名・女性479名) / 非正規15,557名(男性3,176名・女性12,381名)

結婚・子育てのための取組 育児休業、時短勤務、転勤配慮制度、配偶者出産休暇など



WEB <https://www.okuwa.net/>